

### ☆村山市の実践

(大久保小学校、楯岡中学校、葉山中学校)

生命の継承の  
大切さに  
関する教育

#### － 実践のテーマ －

村山市では、村山市教育振興計画のテーマとして「HYPER GOGO!むらやま夢体験プランⅡ」を実践している。その項目の中に「体験的・実感的な学習・活動」があり、各学校において様々な活動を展開している。保護者と共に学習している事例や、村山市で40年間取り組み続けている植林事業について紹介する。

#### ○「いのちの授業参観」の実践 (大久保小学校)

・授業参観の際に、全校一斉で取り組む「いのちの教育」の実践。教科、学活、保健、道徳の授業において、誕生、発育、思いやつながりについて学ぶことができた。

1 学年：道徳      2 学年：学活  
3 学年：道徳      4 学年：保健  
5 学年：道徳      6 学年：道徳  
特別支援学級（1 学年）：国語

- ・授業参観で行うことにより、保護者の親としての思いや自身が大切な存在であることに触れることができ、自尊感情を高めたり感謝の気持ちを持ったりすることができた。
- ・全校生が、家族と一緒にいのちの大切さにふれることができた実践である。

#### ○「ふるさと教育の森」の実践 (楯岡中学校、葉山中学校)

- ・中学校において、40年間継続してきた植林事業。3日間にわたり、全校生が市内の国有林に、スギとブナの苗木を約800本植樹している。今年度は、40周年を記念して、ナラの苗木も約50本植樹した。
- ・生徒たちはグループに分かれ、1本ずつ大切に植樹し、山のいのちを守る活動を体験することができた。
- ・植林活動と同時に、自然体験や森林の機能、環境保全に係る体験学習を実施し、ふるさとの環境を大切にすることを育てている。
- ・村山市の全ての中学生が体験するいのちの教育活動である。

ぼくたち、とっても大切にされて、  
うまれてきたんだね。



ふるさとの山が、いつまでも豊か  
であることを願って、1本1本を  
大切に植樹しました。

